

絵画、書道など平面作品は、必ず額に入れるか表装(専門的なものでなくてよい)し、吊り下げられるように紐を付けた状態で搬入してください。

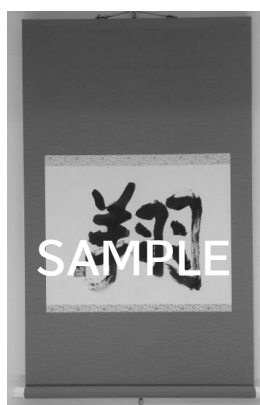
また、留め金が付いていない額については、三角吊りカン等を取り付け紐を固定してください。

グループ作品など大きい作品(規定内)で、額に入れられない作品は、曲がったり、シワにならないようにハレパネなど厚みがある台紙で裏打ちしてください。**裏打ちしてない作品はレイアウトの関係上、展示が出来ない場合があります。**また、下の写真のように吊り下げチェーンを使用しての展示になる場合があります。紐を直接テープで留めたり、粘着テープ付のフックでは作品の重さが規定内であっても作品が落下するため禁止します。必ず作品の**重さに耐え紐が外れないように穴をあけ、紐が解けないよう固定した状態で出品**してください。

手芸作品で編み物や洋服等は会場レイアウトの関係上、テーブル置きか壁かけになる場合があります。搬入時にハンガー等を準備ください。

作品展示方法に関する注意

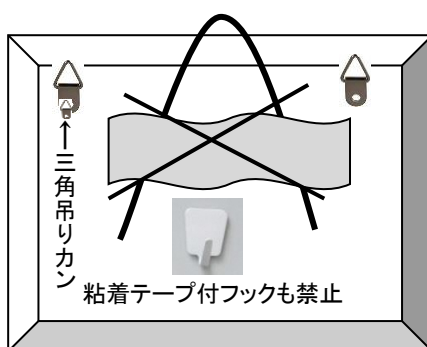
【額装・表装例・展示方法】 *平面作品(額装・表装した状態)・立体作品も1辺が1m以内*



表装した作品

額装した作品

吊り下げチェーンを使った展示



額装出来ない作品は必ず裏打ちする

編み物、洋服類は会場レイアウトの関係上、テーブル置きか壁かけになる場合があります。搬入時にハンガーを準備してください。

留め金が付いていない額については、三角吊りカン等を取り付け紐を固定してください。紐をテープで留めるだけは禁止。粘着テープ付フックも作品の重さに耐えきれずフックが外れ作品が落下してしまうのできちんと作品が落ちないように工夫してください。

美術館内は作品を保存するために室温を一定にしてあり、非常に乾燥しております。紙アートや貼り絵等のりで貼り付けされている作品は取れやすくなっております。制作の段階で作品が外れないようにしっかり接着してください。

※額装・表装例・展示方法例として前展示作品を使用させていただきました。ご了承下さい。